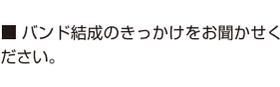


スタジオオラグ・スペシャルインタビュー

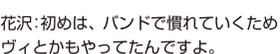
## シカゴプードル

実力派バンド、シカゴプードルさんをお迎えしてインタビューを行いました。



花沢：大学のサークルで。サークルはみんなバラバラなんですけど。僕がオリジナルを高校時代からずっと作っていて、大学になったらバンド組もうと思ってたんですよ。山口とは高校が一緒でドラムやって、大学になったから、山口が一番最初に声をかけたのがきっかけです。そこから、自分が入っているサークルのギタリストと、ベーシストとキーボーディストと入れて、5人でやってて。初めはベースは辻本じゃなかったんですよ。僕も最初は立って歌ってたんですよ、鍵盤弾かずに。5人からキーボードとベースの2人が抜けて、とりあえずベースに入ってもらいたいな。と思って、辻本に声をかけたんですよ。2年くらいたってたかな、結成して。キーボードもいなくなって、僕がピアノをやってたんで、ピアノヴォーカルしようかな、という感じになって、4人でやってたんですよ。最近、また一人ギターが抜けて、今の3人になったという感じです。

■ 結成当初から花沢さんのオリジナル曲を演奏する目的で結成された、と？



花沢：初めは、バンドで慣れていくためにオリジナルと並行してエアロスミスとか、ボン・ジョヴィとかもやってたんですよ。

■ え？！全然イメージわかないですね（笑）その辺のバックグラウンドは皆さん共通なのですか？

山口：バラバラなんですよ、僕ら。好きなジャンルは。それはいい意味で生かされてると思うんですけど。僕はレッチリとかが好きなんですよ。ギターロックが好きで、ピアノ系はあんまり聞かないんですけどね。

花沢：僕もピアノ系はほとんど聞かないですよ。スティービー・ワンダーくらい？でもスティービー・ワンダーってピアノっていうか、僕のイメージの中ではコンポーザーのイメージがあります。ベン・フォールズとか風味堂とかっていうのはあんまり聞かないです。

辻本：僕はバンド始めたきっかけが、LUNA SEAのコピーやったんで、高校から大学でこのバンド入るまではビジュアル系のバンドをしてました。バックボーンはその辺になると思いますね。でも小さい頃からサザンとかミスチルは好きでよく聞いてました。洋楽は全然聞かなかったんですけど、このバンド入って山口からベン・フォールズとか教えてもらったり。元々はビジュアル系でLUNA SEAとラルクは大好きでした。

（この続きはスタジオオラグウェブサイトにてご覧いただけます）

### 【シカゴプードル・プロフィール】

2000年4月同志社大学内で結成。以来、京都を中心に数々のライブを行いながら積極的にオリジナル曲を制作。2003年行われた第一回京都学生祭典「全国学生音楽コンテスト」でグランプリを受賞。メンバーはピアノ＆ボーカル：花沢耕太、ドラム：山口教仁、ベース：辻本健司の3人組。全曲をVo花沢が作曲、作詞を山口、辻本のそれぞれが手がけており、70年代/80年代のGOOD MUSICの持つ懐かしく切ないメロディーションとVo.花沢の声が魅力。2004年7月に1stミニアルバム『White mini album』をリリース。インディーズながらもFMパワープレイを獲得。その後も2ndミニアルバム『New Old Fashioned』、シングル『夢』、フルアルバム『Tone』、コンセプトマキシシングル『Songs 4 one day EP』、3rdミニアルバム『風街序曲』、2ndシングル『愛燦燦』とコンスタントにリリース。作品を発表するごとにその楽曲クオリティーへの評価もアップ、全国各地のFM局でパワープレイを多数獲得している。ライブパフォーマンスもCDとはまた違った激しい一面をのぞかせたり、MCでみせるアットホームなトークでファンを魅了。イベント出演のオファーも多く、さまざまなメジャーアーティストとの競演をおこなってきた。FM徳島「シカゴプードルのラジオ風」のパーソナリティーを務め、その軽快なしゃべりは全国にPODキャスティングされて好評を博している。
**Official サイト**
http://www.chicagopoodle.jp

### スタジオオラグのススメ 其の四：楽器・機材レンタル

ライブや生演奏がしたいけど、会場に設備がない、何が必要か分からないーご安心ください。スタジオオラグではもちろん、楽器・機材のレンタルも行っております。プランニングから会場への機材搬入、音出しのセッティング、PA機器のオペレート、終了後の搬出まで、いかなる環境でもライブが行えるようサポートします。ご用意できる機材はスピーカー、ミキサー、アンプ、ドラムセット、キーボード、エフェクター等、およそライブ演奏に必要な機材全て。必要な時機に・必要な機材を・必要な場所にご用意させていただきます。例えば…

■ 学園祭でのライブ演奏やイベント会場

ライブに必要な一式が揃ったセット：プラン A (69,800 円) がおすすめ。ギターアンプも 2 台含まれ、もちろんベースアンプ、ドラムセット、PA 機器、マイク等込み。通常のライブ演奏に必要な十分なパッケージです。イベント会場には PA 機器一式のセット：プラン C (28,000 円) が最適。オプションで CD テックや MD テックも追加できます。

■ プライダルでの生演奏や司会

昨今ではプライダルでの生演奏披露も一般的になりました。しかし、会場に楽器があることはまず皆無、またご自身で揃えることも困難です。エレキピアノを用いてしっとりバラードを、またバンド形式での華やかなプライダルソング演奏等、お客様のリクエストに合わせ、お二人の大切な一日を素敵に演出致します。また、司会進行に必要な音響機器のレンタル・オペレートも承っております。

■ ミュージシャンからの機種指定

念願のアーティストの招聘に成功、しかし、ミュージシャンがリクエストする機材が手持ちにない。そんな場合もご安心を。ギターアンプで言うと Fender、Marshall、Roland の定番はもちろん、Mesa/Boogie や Hughes&Kettner 等幅広く取り揃えております。ヘッドのみやキャビネットのみ等のワン・ショットのレンタルも OK です。

■ アコースティックギター弾き語り

ギター 1 本と歌での弾き語りに最適なのが、ポータブルギターアンプ。ギター、ヴォーカルの入力 2 系統を備え、ヴォーカルにはエフェクトもかけられ、しかも充電式で場所を選ばない優れもの。これ一台で、ストリートでの注目を一身に集めること請け合いです。マイク、マイクスタンドもレンタルできますので、ギター 1 本あればいつでもどこでも演奏できます。

上記以外にも、あらゆるアプリケーションに対応致しますので、まずはご要望をお聞かせください。また、2 日以上に亘るレンタルの場合は、基本料金 × 日数 × 75％ と、大変お得になっております。秋はイベントシーズン、日によっては既に予約が入っている場合もございますので、お早めにご予約ください！

**お問合せ・お申し込みは**

スタジオオラグ河原町店 担当：平田まで (TEL 075-241-2022)
スタジオオラグウェブサイトにて専用のフォームもあります

	<b>プラン A</b> ギターアンプ×2台+楽器+PAのフルセットが 69,800円
	<b>プラン B</b> パーティなどに最適な楽器+PAのフルセットが 54,000円
	<b>プラン C</b> 学園祭などに最適なお手軽PAセットが 28,000円
	<p>メインスピーカー×2(EV SX300)、マイク×4(SHURE SM58)</p> <p>パワードミキサー(YAMAHA EMX5000)</p> <p>ギターアンプ(Marshall JCM900 + 1960A)</p> <p>ギターアンプ(Roland JC-120)、ベースアンプ(Hartke HA3500 + 4.5XL)、ドラムセット(Pearl MX シリーズ)、接続ケーブル一式</p>
	<p>メインスピーカー×2(EV SX300)、マイク×3(SHURE SM58)</p> <p>パワードミキサー(YAMAHA EMX5000)</p> <p>ギターアンプ(Roland JC-120)</p> <p>ベースアンプ(Hartke Kickback 15)</p> <p>ドラムセット(Pearl MX シリーズ)、接続ケーブル一式</p>
	<p>メインスピーカー×2(EV SX300)</p> <p>マイク×3(シュアー SM58)</p> <p>パワードミキサー(YAMAHA EMX5000)</p> <p>接続ケーブル一式</p>

## DJさだまさしのあゝ意味、CDデビュー



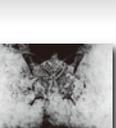
SOULJACK76  
[NO DEAD END]  
GFR-003 / 1800円

「SOULJACK76 がマジで超カッコヨスギ MAX♡」と、あの北白川店番長 HIROCK が太鼓判を押す京都の R&R GANG、それが SOULJACK76。そんな HIROCK の主観に基づき、彼らが 2003 年に発表した 1st アルバム [NO DEAD END] を紹介しよう。激烈パチパチドラムソロより始まる “#1 2SECONDS” はそのアルバム の幕開けに相応しい “3 分弱 ” の疾走ロックチューン。そこから息つく暇も与えず始まる “#2 I LOVE YOU”, ここで聴けるギターリフはカミソリ のようで、まるで深剃りの三枚刃刃。しかし “ 横滑りしても切れてない ” などという安全性は SOULJACK76 にはないぜ。なんて危険な奴らなんだ。そして “#7DAYS” のイントロのアカペラ部分で聞ける Vo&Ba ヨウヘイの声はまさにロックボイス。まるで無免許で翔たフグの様にシビれるぜ。なんて危険な奴らなんだ。しかしカッコいいのは声、音、ルックスだけでなく、なによりその精神。カッコいい事を本気で伝える事ができ、そのカッコよさに負けない人間のカッコよさを感じさせる所が何よりもこの SOULJACK76 のカッコヨスギ MAX 部分なのだ。しかし HIROCK に書けと言われた。音源も素晴らしいが SOULJACK76 は LIVE がより素晴らしい。定期的に開催される SOULJACK76 主催イベント [ROCK BLESS YOU] は毎回大盛況をばくし、10/10 のイベントには HIROCK のバンド [PSYCHO kui METALLICS] も参戦するらしくます京都の ROCK 界に火をつけ MAX な事だろう。もちろん、これも書けと言われた。ちなみにこの音源はスタジオオラグにてレコーディングされたそうだ。と、これは上司に書けと言われた。



MOLEHILL  
「現在は今」  
DDB9-14006 / 2,100円

2006 年 12 月 1st ミニアルバム [MOLE HILL] で全国デビュー。地元京都のみならず全国区で人気急上昇中のもぐらロックバンド [MOLE HILL] が今年 6 月に 9 曲入り 2nd ミニアルバムを発売した。それがこの [現在は今] と書いて “ いまはいま ” と読む本作品だ。昔母親に口酸っぱく言われた “よそはよそ ” から連想して付けたかどうかは定かではないが、メンバーも幼少の頃は口酸っぱく言われた事に違いない。まあ、それはそれ。そのタイトル曲 “#1 現在は今 ” はまさに現在の MOLEHILL を代表するフレッシュなポップロックチューン。サビの歌い出し [Stand Up Girl♪] が [がんばって] や [三角形] に聞こえるというのがファンの間でもはや定説。 [三段腹] と聞こえるという説もあるが、それは無視して良いだろう。むしろこの行ごと無視して欲しい。このバンド・そしてこのアルバムの良さ、それはメロディ。Vo. 新大作のメロディメイカーとしての才能が大いに発揮されており、どの曲も一度聴いたら口ずさめてしまうほど親しみやすい。そして聴いた後にとてもポジティブな気持ちになれるのが悩めるストレス大国日本で支持を受ける要因だ。中でも “#4 文月 ” は必聴、エンハンスド CD として収録されている PV も必見。 “#8LIFE” は映画 [青空のルーレット] の挿入歌として使用されているが、劇中ではキーが 1 音半下げなので別の曲に聞こえる。本人等も映画に出演しているが、そんなブラウ管越しに見たって彼らの本当の気持ちなんて伝わらなんだ。・・・しまった、知った口をきく気持ち悪いファンみたいな事を言ってしまった。



六合  
「宵闇の残光」  
HIKU-02 / 2,000円

ロック・メタル・プログレなどを基盤とし唯一無二の音世界を追求する京都のダークロックバンド [六合] が今年 8 月に発売したばかりの 1st フルアルバム [宵闇の残光]。前作ミニアルバム [幽遠] でそのダークでヘヴィかつキャッチーな楽曲は健在であったが、今作はレコーディングに 6 ヶ月を費やし満を持して完成され、プレイ・音質・楽曲アレンジすべてにおいて格段に昇華せしめているのが一目瞭然。より六合の世界観が伝わる作品となっている。中でもベーシスト増戸清貴の成長は著しく、あえて言うなら彼のベースラインは嫌でも耳を惹き、その存在感から目をそらす事は誰もできず！ させす！ 持ち込ませず！ の三原則遵守！・・・ああそうさ！ 手前味噌さ！ それだけ買って聴いてほしいのさ！ amazon でも買えるでしょ！ ねっ！ お手軽でしょ？ ほら、ポチっと！・・・あ、はい・・・ですよね、宣伝は良くないですよ・・・でも HIROCK さんもさっき、あっ・・・口答え、そんなつもりは・・・はい、了解です、そうします・・・

ちなみにこの音源もクラス最高水準のスタジオオラグでレコーディングされたそうだ。もちろん、これも上司に書けと言われた。

※ [MOTHER FUCKER] は作者急病のため休載致します。
[スタジオオラグ]